

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	StepUP陸田通町教室	公表日	2025年3月6日			
項目	チェック項目	はい		いい点	工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いい点			
環境	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	イベントなど場合によっては狭いと感じることもあるが、活動スペースを区切るなど工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	7	1	二重チェックをし、配置基準を確実に満たすようにしている。児童人数に応じて職員を追加したりと、月途中でも変更をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6	フロアマットの色でゾーンを分けたりしやすいようにしている。スケジュールの見通しがもてるように1ヶ月先のカレンダーを掲示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	8	0	静スペースは、活動中の児童が気にならない位置に配置している。毎日、掃除消毒を行い、児童がお手洗いに行った後には必要に応じて職員が汚れないかを確認している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	廊下をおこした児童や、パニックになった児童は個室に、基本的に同性職員と入室し落ち着くまで使用することもある。	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	常勤職員を中心に朝礼や昼礼、終礼で反省や今後の対応などを話している。	
	7	保護者向け評価により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	3か月に1回管理面談と、半年に1回児発面談を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	公開トレーニングを行い、近隣の事業所の方や保護者様に来てもらい、取り組みなどを見ていただいている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	月に1度様々な内容の研修を受けており、非常勤職員など参加できていない職員にも後日伝達研修として研修を行っている。その他の研修も同様に対応している。	
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	管理者、児発等を中心にその他の職員も含めて支援プログラムを作成し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	半年に一回アセスメントシートとして保護者様にニーズや課題を記入していただき、それを基に保護者様と面談を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎月支援会議では常勤職員は必ず参加し、子ども一人一人のアセスメントを行い、計画の作成をしている。また、非常勤職員にも紙面で共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	全職員が放課後等デイサービス計画はいつでも見られるようにしており、目標を踏まえながら日々の共有や打ち合わせを行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	ガイドラインはいつでもすぐに見られるようにしており、保護者様に説明しながら本人支援や家族支援等を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	困った時は相談、共有をしている。また、職員で意見を出し合いながら最善の案を採用するようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	運動トレーニングやコミュニケーショントレーニング共に、毎日、毎時間異なるトレーニングを常勤職員みんなで回しながら提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	個別活動では抽籤運動で折り紙を作る作業や、コミュニケーショントレーニングで個別のプリント学習も行い、集団活動では、チームでのゲームや運動、グループワークを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	常勤職員、非常勤職員みんなで必ず今日の活動の打ち合わせや、気をつける事など共有を行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	支援後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5	3	常勤職員は終礼時に1日の振り返りを行っているが、非常勤職員は運動の時間がそれぞれ異なるため、全体ではなく各々で振り返りを共有し、後日全体で共有している。	常勤職員は終礼時に1日の振り返りを行い、非常勤職員も可能な限り全体で行う。難しい場合は振り返りを後日全体で共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別支援計画書の目標に基づきながら、日々かさね支援の記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	毎月支援会議を行い、児童一人一人に対して少なくとも半年に一度の放課後等デイサービス計画の見直しを保護者様との面談を通して行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	2	ガイドラインはいつでもすぐに見られるようにしている。	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」が理解できていない職員がいれば、全職員に分かりやすく説明をしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8	0	強制的なトレーニング参加ではなく、自発的なトレーニング参加を促している為、参加の有無も自分で判断し自己決定能力を養えるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	職員間で誰がふさわしいか話し合ってから参加者を決めて、適宜参加している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	7		対象児童が少ない為、今後はもっと連携を増やしていきたい。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	3	送迎を行っていない為、送迎時などの連絡等は学校とはないが、保護者様に協力をしていただき、年間計画や学校行事等を教えていただいている。	必要に応じては、各学校にご連絡し連携をとってきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4		計画書の共有のみで止まっていたので、その他園での様子等困りごと等も情報共有していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか。	5	3	卒業後はその後の関係機関との連携が取れないので、保護者様とも連絡をとりつつ3方向で連絡をとってきたい。	
保護者への説明等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	常勤職員は中部教育センターの見学や研修に毎年職員を代えながら参加している。また、その後は伝達研修を全職員参加の会議時に報告している。	常勤職員に限らず、非常勤職員も機会があれば積極的に参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		必要としない保護者様も多く、現在は必要としないが近頃のお祭りなどにイベントとして行く計画なども考えていきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	連絡など欠かさず参加している。	連絡など参加しているかどうかなどを非常勤職員などは知らない為、しっかりと説明していく必要がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時に本日の児童の様子等を必ずお伝えし、加えて毎週1回週次日報として児童の様子を書いているものを書面で配布している。	
	35	家族の対応力向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	支援時間以外にお電話やメール等で保護者様の悩み事などをいただき、アドバイスや解決法などを提示しながらご家族様と共に支援を進めている。	他施設とも連絡を連携しながら、イベント等企画しながら家族支援プログラムを進めていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時にご案内していたが、必ず対面での1時間程度時間をとって丁寧に説明をしている。また、変更時も書面を作成し説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	保護者様の意向に出来る限り沿い、放課後等デイサービス提供を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	書面で同意を必ず得ている。また、個別支援計画書は中高生など理解が可能児童には直接説明をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談が必要な助言と支援を行っているか。	8	0	支援時間以外にお電話やメール等で保護者様の悩み事などをいただき、アドバイスや解決法などを提示しながらご家族様と共に支援を進めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		保護者会等希望しない方が多いが、家族参加型のイベントを多く企画し、ご家族同士の交流できる場を検討していきたい。
非常時等の対応	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	クレーム対応の研修を行い、適切な対応に努めている。困った際は、職員で共有し相談し迅速に対応している。	
	42	定期的な連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎日ブログの更新、毎月連絡の配布を行っている。また、イベントチラシを都度配布し、教室内外と教室外に掲示している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	研修を行い、ブログなど開出のチェックなどは、職員2.3人で行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	イラストカードや紙面に文字媒体で記載して提示するなど視覚支援等を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	公開トレーニングを行い近隣事業所や、区役所にチラシを配布し第三者の目が入るように開いた運営をしている。	公開トレーニングの他にも地域の方と一緒にできることを模索していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各マニュアル等はいつでも見ることのできる場所に置いてある。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	年	2	年2回児童と一緒に行う避難訓練を実施し、別でビル一体となって職員のみでの避難訓練、避難器具の使い方など定期的に行っている。	職員みんなでBCP作成の話し合いを行い、年度見直しを行ってきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等などの状況を把握しているか。	8	0	事前にアセスメントをレシピーがある児童に対しては、対応方法を保護者様と確認している。	必要に応じて、保護者様と連絡をとり医師との連携も検討していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指図書に基づき対応がされているか。	2	6		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	4		安全計画を都度職員で見直し、より良いものを提供していきたい。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8	0	サイン欄を設けて全員が確認したことがひと目でわかるようにしている。また、全職員参加の会議で改めて振り返るようにしている。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現在該当者がいないが、身体拘束等の研修や話し合いは行っている。		